

中 期 目 標

国立大学法人鹿児島大学

平成16年5月26日提示

平成18年3月30日変更提示

平成19年3月29日変更提示

目 次

(前文) 大学の基本的な目標	1
中期目標の期間及び教育研究上の基本組織	2
大学の教育研究等の質の向上に関する目標	
1 教育に関する目標	
(1) 教育の成果に関する目標	2
(2) 教育内容等に関する目標	3
(3) 教育の実施体制等に関する目標	4
(4) 学生への支援に関する目標	4
2 研究に関する目標	
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標	4
(2) 研究実施体制等の整備に関する目標	4
3 その他の目標	
(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標	5
(2) 附属病院に関する目標	5
(3) 附属学校に関する目標	6
業務運営の改善及び効率化に関する目標	
1 運営体制の改善に関する目標	6
2 教育研究組織の見直しに関する目標	6
3 人事の適正化に関する目標	6
4 事務等の効率化・合理化に関する目標	7
財務内容の改善に関する目標	
1 外部資金その他の自己収入の増加に関する目標	7
2 経費の抑制に関する目標	7
3 資産の運用管理の改善に関する目標	7
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標	
1 評価の充実に関する目標	7
2 情報公開等の推進に関する目標	7
その他業務運営に関する重要目標	
1 施設設備の整備・活用等に関する目標	8
2 安全管理に関する目標	8
別表(学部、研究科)	9

国立大学法人鹿児島大学の中期目標（原案）

（前文）大学の基本的な目標

鹿児島大学は、その拠点が日本列島の南の玄関に当たり、海洋と島嶼に恵まれ、優れた自然環境と豊かな文化を育んできた地にある。古くから海外との交流と異文化の移入を先導し、わが国近代化を時代に先駆けて推進した秀でた人材を輩出してきた。

鹿児島大学は、このような地域が有する特性を受け継ぎ、これを教育研究活動の精神的基盤とし、学生、教職員が地域社会と一体となって、学術文化の向上、自由と自主の尊重、人類福祉への奉仕、世界平和の維持及び地球環境の保全、すなわち地球規模での新しい豊かさの実現に努め、世界を先導する総合学術共同体としての大学を目指すことを基本理念とする。

この基本理念を達成するために、教育と研究と社会貢献を使命とし、教育においては、真理を愛し、高い倫理観と芸術性を備え、堅固な自立心・向上心を持って諸課題に立ち向かう人材を育成する。研究においては、個々の卓越性を明確に自認して、地域と世界が求める新しい学術の体系と枠組みの創出に果敢に挑み、基礎的な研究を重視し、先端的な応用研究を推進し、両者が融合した先導的・独創的な新しい学問を確立する。また、地域の特徴を活かした重点的な研究を通して、地域社会と国際社会に貢献する世界的な学術拠点を目指す。

この鹿児島大学の基本理念及び使命を具現化するために、組織運営の不断の自律的改善に努め、全学的な合意形成を図りながら、社会や時代のニーズに応える教育・研究組織を柔軟に編成する。

鹿児島大学はこれらの基本理念及び使命に基づいて21世紀の鹿児島大学を構築するために、以下の基本目標を掲げる。

1．教育に関する基本的目標

教育の重要性を認識し、教育目標、到達目標を明確にし、適正な評価を実施する。真に充実した教養教育を実施し、個性豊かで創造的チャレンジ精神に富み、創意工夫に優れ、高い倫理観を持ち、社会の向上を志す人材を養成する。

専門教育の高度化並びに大学院の充実を図り、高度な専門知識・技術・技能を有し、国際的に活躍できる人材、研究者を養成する。

2．研究に関する基本的目標

温帯から亜熱帯まで、南北 600 km に及ぶ広大で多様性に満ちた自然を有し、南北の文化が接する地域に立地する利点を活かし、自然、歴史、文化、産業、医療分野等の地域的かつ世界的課題について研究を進め、その成果を世界に発信する。

総合大学の特色を活かし、学部・研究組織を超えた総合的、学際的研究を強力に進めつつ、自由な環境の下での個性的、独創的研究を奨励し、先端、応用及び基礎領域において世界トップレベルの研究成果を生みだし、「世界の鹿児島大学」を目指す。

3．社会との連携に関する基本的目標

地域における産業・文化・教育・医療の多種多様な要請に応えるとともに、産学官連携を推進し、それらの発展に積極的に貢献する。さらに、教育・研究両面で地域の文化中枢とし

ての機能を強化発展させる。

4．国際交流に関する基本的目標

東アジア、東南アジア及び南太平洋諸国の大学を中心に、広く海外の大学、国際機関との連携を深め、国際交流を積極的に進める。研究者・学生の双方向交流及び国際共同研究を一層推進するとともに、受け入れ体制を整備し、世界各国から研究者及び留学生を積極的に受け入れる。

5．環境整備に関する基本的目標

キャンパス整備計画を整理し、教育研究環境、修学環境、附属病院環境を向上させる。地域との一体化を目指した周辺環境整備にも配慮する。

6．管理・運営に関する基本的目標

現今の世界と日本での急速な変化に対応するため、鹿児島大学の制度・組織に関する全学的構想の立案と実施に努め、常に主体的自律的に改革を行い、学長を中心とした円滑な意思決定形成とダイナミックで機動的な管理・運営を行い、社会的責任を全うする。

中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

1 中期目標の期間

中期目標の期間は、平成16年4月1日から平成22年3月31日までの6年間とする。

2 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するため、別表に記載する学部、研究科を置く。

大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育の成果に関する目標

【学士課程】

(1) 幅広い知識・教養・技能等を有するとともに、進取の精神、自主自律の精神に富み、深い歴史感覚、鋭い現実感覚、高い公共意識に裏付けられた判断力と構想力を有する個性豊かな人材の育成を目指す。

(2) 人類及び地域社会が抱える現実的問題に目を向けさせ、問題解決へ向けた方策の探求を通して、創造的チャレンジ精神、具体的構想力、応用的能力を備えた人材の育成に努める。

(3) 専門的職業能力を身につけた人材を養成する。

(4) 高いコミュニケーション能力を持った人材を養成する。

(5) 教員の教育力を高める。

【大学院課程】

(1) 高度専門職業人、研究者の養成を図る。

(2) 国際化、情報化に対応し、社会をリードし、国際的に活躍できる人材を育成する。

【社会人教育】

社会人に広く門戸を開放し、「リカレント教育」、「リフレッシュ教育」の機能を充実させる。

【留学生教育】

留学生を積極的に受け入れ、異文化を理解し、学術文化、科学技術の国際的発展に寄与できる人材を育成する。

【卒業・修了後の進路】

社会において自己実現ができる学生を育成する。

【教育の成果・効果の検証】

教育の成果・効果の検証を行い、教育改善に結びつける。

(2) 教育内容等に関する目標

アドミッション・ポリシーに関する基本方針

(1) 鹿児島大学の教育目標

鹿児島大学は、国際的視野に立った幅広い教養及び専門的知識・技能を身につけるとともに、深い歴史認識や鋭い現実感覚、そして高い公共意識に裏付けられた判断力と実践能力をもった社会人の育成を目指す。

特に、学生が地域社会の問題に果敢に取り組むことにより、失敗を恐れないチャレンジ精神と具体的構想力を向上させること、すなわち、「現場主義と創造的チャレンジ精神」を重視して教育を行う。

(2) 鹿児島大学が求める学生像

鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することを目指す人
ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

教育課程に関する基本方針

- (1) 後期中等教育における選択制の拡大、入試方法の多様化等に伴い、多様な学習歴を持った学生が入学してくることが予想されるので、それに対応した教育課程を編成する。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。
- (3) 各学部、学科、研究科、専攻は、カリキュラムの見直しを行い、それぞれの教育目標に即して、系統性、一貫性のあるカリキュラムを編成する。
- (4) 他の教育研究機関、海外の教育研究機関等、社会との有機的な連関をもったカリキュラム編成を行う。

教育方法に関する基本方針

- (1) 多様な学習歴を持った入学生に対応するための教育方法を整える。
- (2) 個々の学生の個性を伸ばし、個人を重視した教育を行うために、授業形態、学習指導法を工夫する。
- (3) 学生のプレゼンテーション能力を向上させるための教育を行う。
- (4) 情報機器、補助教材、その他援助制度等を積極的に活用し、効果的な授業を行う。

成績評価に関する基本方針

- (1) 学生に対して評価基準を明確に示し、厳正な評価を行う。
- (2) 学生の学習達成度を把握し、教育に反映させるシステムを導入する。

(3) 学生のモチベーションを高めるための評価システムを構築する。

(3) 教育の実施体制等に関する目標

教育の実施体制などに対する基本方針

- (1) 鹿児島大学における教育目標、さらに各学部・研究科における教育目標を達成し、学生の育成に責任を持つ教育実施体制を実現する。
- (2) 教職員の配置、教育環境の整備、教育の質の改善のためのシステム等種々の見直しを行い、改善を具体的に行う。
- (3) 教育に必要な設備、図書館、情報ネットワーク、教材等を整備充実し、活用する。

(4) 学生への支援に関する目標

学生への学習支援に関する基本方針

- 教員と学生の緊密なコミュニケーションにより、学生の意欲・学習レベルの向上を目指す。
- 動機付け教育や補習教育を充実させる。
- 国際化に対応するための体制を強化する。
- 社会貢献が期待できる人材を輩出する環境づくりを行なう。

学生への生活支援に関する基本方針

- 学生の生活・健康相談、課外活動支援等に関する学生支援体制を整備し、学習に集中できる環境をつくる。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

研究水準及び研究の成果等に関する基本方針

- 知の創造を通して、社会や自然との調和・共生を図りつつ、持続的に発展可能な世界を目指し、人類の平和と福祉に貢献する。
- 地域の問題を共有し、それらの共同解決をはかることにより、地域社会の抱える現実的諸問題に深く学び、教育研究の活性化とその新しい展開に果敢に努めるとともに、その成果をもって地域社会の産業・文化・教育・医療への貢献を目指す。
- 地域に根ざした研究の成果を普遍化し、世界に向けて発信する。

(1) 大学として重点的に取り組む研究領域を設ける。

- 地域的特徴を活かした人間、環境、エネルギー、健康、食、宇宙分野での研究を推進する。

- 地域性を鑑み、地域貢献型の研究を進める。

- 先端的学際領域の研究を進める。

(2) 積極的な成果の公開と社会への還元を図る。

(2) 研究実施体制等の整備に関する目標

研究者等の配置に関する基本方針

- (1) 国際的に卓越した先導的研究を強力に支援する。数多くの萌芽的研究をも同時に推進する。

そのために必要な体制を整え、研究者等を適切に配置する。

先導的研究、基礎的研究及び萌芽的研究を支援する体制を整える。

研究者等を適切に配備し、効率的な研究体制をとる。

研究組織の弾力化に努める。

研究環境の整備に関する基本方針

(1) 研究環境の整備を図り、研究の質の向上を目指す。

研究環境を整備し、拠点発展を図るとともに、国内外との研究交流を支援する。

「競争的教育研究スペース」制度を基礎にキャンパスの効率的な使用を図る。

設備などの学内共同利用化を推進し、研究資産の効率的な運用を行う。

(2) 研究資金の配分システムを構築する。

(3) 知的財産の創出、取得、管理及び活用のシステムを構築する。

(4) 教員の適切な研究業績評価システムを整備する。

(5) 共同研究及び人文・社会・自然・生命科学等の諸科学の総合的・学際的研究を推進するための体制を整備する。

(6) 地域における産学官の共同研究の拠点として、機能の充実を図る。

3 その他の目標

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

社会との連携、国際交流等に関する基本方針

(1) 地域社会における知的ネットワークの核として公開講座や講演会等を積極的に行い、地域住民との知的交流に努めるとともに、地方にある大学として、地域の文化・経済・教育・医療の発展に積極的に寄与する。

(2) 総合大学であることを活かし、多くの学部等が共同で、あるいは学部等の特徴を活かして単独で、地域の抱える課題あるいは地域を超えた普遍的な課題に取り組み、その総合的解決を図る。

(3) 産学官連携の推進のために、県内外の企業や自治体等との共同研究、受託研究を積極的に行い、研究者の受け入れを推進するとともに、産学官連携強化のための体制づくりを図る。

(4) 地域の公私立大学等との連携強化を図り、教育研究及び社会貢献活動をより効果的に実施する。

(5) 国際社会との連携を目指し、海外の大学・研究機関等と積極的に教育・研究交流を行うとともに、その推進のための学内環境の整備を図る。

(6) 発展途上国への国際協力、国際貢献を推進する。

(2) 附属病院に関する目標

医療の質の向上及び運営等に関する基本方針

(1) 医療サービスの向上や経営の効率化を図る。

診療体制の充実を図る。

患者サービスとアメニティの充実を図る。

病院管理体制の充実を図る。

(2) 良質な医療人を養成する。

臨床教育機関としての卒前教育の充実を図る。

臨床教育機関としての卒後研修制度の充実を図る。

地域の医療機関と連携し、生涯教育の場を提供する。

(3) 研究成果の診療への反映と先端的医療の導入を図る。

(4) 安全管理体制の強化を図る。

(3) 附属学校に関する目標

教育活動の基本方針及び学校運営改善の方向性

(1) 大学・学部との連携・協力を強化する。

大学・学部と附属学校が一体となった教育研究組織等の確立を図る。

大学・学部と附属学校が連携して効果的な教育実習を行う。

(2) 学校運営の改善を図る。

学部と附属学校との連携を強化し、学校運営について附属学校の主体性に十分に配慮しつつ、運営体制の改善に努める。

学校施設等の開放事業を積極的に進め、地域に根ざした附属学校を目指していく。

国際交流や国内交流の推進を図る。

非常時その他の安全管理を強化する。

(3) 入学者選抜を見直し、改善する。

(4) 附属学校と公立学校との人事交流・教職員研修を推進する。

業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 運営体制の改善に関する目標

効果的な組織運営に関する基本方針

(1) 経営の観点から、大学としての基本戦略を確立するための体制を整える。

(2) 迅速かつ効果的・効率的な大学運営が可能となるような体制を確立する。

(3) 高度に専門的な教育研究を行う場である大学に相応しい運営体制を実現する。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

教育研究組織の柔軟かつ機動的な編成・見直し等に関する基本方針

(1) 適切な評価に基づいて、教育研究組織の弾力的な設計と改組転換について検討を行う。

(2) 地域社会の活性化に寄与する方向で、学部組織の見直しを行う。

(3) 大学院の充実を推進し、学問の高度化や高度専門職業人の養成に努める。

(4) 学部、大学院の教育研究の高度化に伴い、附属施設の充実に努める。

3 人事の適正化に関する目標

戦略的・効果的な人的資源の活用に関する基本方針

(1) 適切な業績評価システムに基づき、教員の多様性と流動性の向上を図る。

- (2)事務職員及び技術職員の採用、育成等適正な人事を行う。
- (3)「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)において示された総人件費改革の実行計画を踏まえ、人件費削減の取組を行う。

4 事務等の効率化・合理化に関する目標

事務処理の効率化・合理化や事務組織の機能・編成に関する基本方針

- (1)各種事務の適正で抜本的な再編を行い、事務処理の簡素化・迅速化を図る。
- (2)積極的な電算化と外部委託を行い、効率化に努める。

財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標

財務内容の改善に関する基本方針

- (1)自己収入の確保と増加に関する目標
外部研究資金の獲得と授業料等の収入の安定確保を図る。
- (2)附属病院の財務内容の改善に関する目標
附属病院の経営を改善し、病院収入の増加を図る。

2 経費の抑制に関する目標

管理的経費の削減を図る。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

- (1)資産に応じた、効果的・効率的な運用管理を行う。
- (2)余裕資金の安定的運用を図る。
- (3)施設等の貸付による資産活用を図る。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

評価体制・方法等を充実し、改善に努める。

- (1)自己点検・自己評価を行う組織、体制、項目、手法等の見直しを行い、点検・評価を厳正に実施する。
- (2)外部評価組織の見直し、充実を図るとともに、自己評価及び外部評価結果等をもとに次期改善計画の策定を行い、大学運営の改善に役立てる。
- (3)第三者評価により大学運営を改善する。

2 情報公開等の推進に関する目標

大学や学部の広報組織並びに情報の管理・提供体制の点検・見直しを行うとともに、ホームページや出版物、新聞やテレビ上での発言等を通して、大学・学部案内、入試情報、研究成果、点検・評価結果等を積極的に公開する。

その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

- (1) 鹿児島大学の教育研究の目標を達成するため、計画的な施設設備の整備と、全学的視点に立った維持管理（予防保全等）体制の確立とその推進を図る。
- (2) 施設の全学的な管理運営体制を推進するとともに、既存施設の有効活用を図る。

2 安全管理に関する目標

安全管理・事故防止体制を確立する。

- (1) 各種災害に対応した全学的な総合防災計画を策定する。
- (2) 労働災害等の防止のための責任体制の明確化等その防止に関する総合的な対策を推進する。

別表（学部、研究科）

<p>学 部</p>	<p>法文学部 教育学部 理学部 医学部 歯学部 工学部 農学部 水産学部</p>
<p>研 究 科</p>	<p>人文社会科学研究科 教育学研究科 保健学研究科 理工学研究科 農学研究科 水産学研究科 医歯学総合研究科 司法政策研究科 臨床心理学研究科 連合農学研究科 <div style="text-align: center;"> { <p>参加大学 佐賀大学 琉球大学</p> } </div> <p>連合獣医学研究科 <div style="text-align: center;"> { <p>山口大学大学院 連合獣医学研究 科に参加</p> } </div> </p> </p>